

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公開番号】特開 2019-41373 (P2019-41373A)
 【公開日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-010
 【出願番号】特願 2018-121817 (P2018-121817)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/11 (2006.01)

A 4 5 C 11/00 (2006.01)

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/11 Z

A 4 5 C 11/00 E

H 0 5 K 5/02 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 9 日 (2021.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 部材と、第 2 部材と、

前記第 1 部材及び前記第 2 部材を線状に連結し、前記連結の線方向を軸方向として前記第 1 部材及び / 又は前記第 2 部材が回転する折曲部と、を備えたヒンジであって、

前記折曲部は、シリコンゴムを含み、

前記シリコンゴムは、前記第 1 部材及び前記第 2 部材が開いた開状態においてひずみを生じ、前記第 1 部材及び前記第 2 部材を閉じる方向に付勢するものであり、

前記第 1 部材及び / 又は前記第 2 部材の質量は、前記第 1 部材と前記第 2 部材を 180°開いた開状態における、前記第 1 部材及び前記第 2 部材を閉じる方向に付勢する応力よりも小さいことを特徴とする、衛生的な汚染を防止したい物品の蓋に用いるヒンジ。

【請求項 2】

前記第 1 部材又は前記第 2 部材の少なくともいずれか一方の部材の質量は、前記応力より大きいことを特徴とする、請求項 1 に記載のヒンジ。

【請求項 3】

前記応力は、1 ~ 100 gであることを特徴とする、請求項 1 に記載のヒンジ。

【請求項 4】

前記シリコンゴムは、断面略円弧状のシリコンゴム製チューブからなることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のヒンジ。

【請求項 5】

前記シリコンゴム製チューブは、外径が 6 ~ 20 mm であり、厚みが 0.5 ~ 5 mm であることを特徴とする、請求項 4 に記載のヒンジ。

【請求項 6】

前記断面略円弧状の開口角度は、0 ~ 90°であることを特徴とする、請求項 4 に記載のヒンジ。